

「田村式立て看板」 制作法

田村

あらゆるサークル・部活・団体が看板を立てる空間でなくなってからまだ2年も経っていない。しかし学生は大学に4年間しかいない生き物（諸説ある）なので、それだけの期間でも技術や文化の継承が途絶えるには十分な長さであった。ここで私は京大の時勢に即した立て看板の作成法を新たに創り上げた。この「田村式立て看板」の特徴は

- ・ 費用が比較的安価
- ・ ネジや釘が少なくて済み、初心者でも作りやすい
- ・ 軽いので看板を手を持って逃げられる（東大路通を挟んで西側に逃げると職員は来ない）

といった特徴がある。質問があれば農学部自治会に連絡を。それでは制作法に早速入ろう

1. 木材を買う

立て看板は①板②角材の2種類の木材の組み合わせで作られる。今回利用するのは薄いベニヤ板と細い角材だ。出町柳のケーヨーデイツーの2階東側の木材売り場で①最も安いベニヤ板②角材の10本セット（安い）を購入すれば大丈夫だ。このとき「角材を長い方向に貫通するほどの長さがありかつ角材が割れないくらいの太さの木工ネジ」、その他工具やペンキを購入しても構わないが農学部自治会で借りられるのでそれを使うのが手っ取り早い。

2. 描く

木材を買ってきたらベニヤ板に望みの絵や文字を書こう！この工程はものによって大きく手間が違う。凝った絵ならば500時間ぐらいかかるし、大まかな文字ならば1時間もかからない。文字ならば先に背景を塗っておいたほうがいい。絵の場合は手間をかけてでも色に拘りたいのならば、背景色を全体に塗るのではなく必要などろにだけ塗ろう。文字の場合でも絵の場合でもプロジェクターを使って投影し線をなぞると、上手に早く仕上げられる。プロジェクターも農学部自治会で借りられる。ペンキは原色を使わない限り色を残しておこう。コップに入れて色を作りラップをするといい。

3. 角材を切る

ベニヤ板の大きさに合わせて「日」の字型に組めるように角材をカットしよう。ベニヤの面と角材の広い面と並行になるようにしたほうが作業しやすい。少し長めに切って削るのがきれいに作るコツ。電動丸のこと電動サンダーを使うと一瞬で終わる。

4. ベニヤと角材を固定する

角材を「日」の字型に地面においたらその上に立て看板を置き、角材の辺とベニヤの端を合わせよう。次にガンタッカー（建築で壁紙固定に用いる）を使ってベニヤを角材に固定しよう。見た目を気にするならこのあと針の上からもう一度色を塗る必要があるのでは色を塗りやすいところに針を打とう。

5. 角材同士をねじで固定する

後は角材同士を横からネジで固定して完成！このとき角材の長さが適当だとベニヤが割れたりするので注意。ここまでの工具はすべて農学部自治会で借りられるぞ！！